

## 250) 帰らない恋

夕焼けの空を見てると　　過ぎてゆく今日という日が  
理由わけもなくもの哀しくて　　思い出がさすらってゆく  
鳥たちは北の国から　　飛んできて生命いのちをつなぎ  
やがて来る冬に向かって　　人間ひとはみな徒歩あしを早める

夕焼けはくすんだ街を　　輝けるあかね 茜あかね に染めて  
暮れてゆく南の空に　　三日月を白く残した  
言葉ことばではうまく言えない　　本当はあなたのことを  
誰よりも愛したことを　　いつまでも忘れないでね

夕焼けの空よりあか 紅あかく　　雪ゆき 椿つばき 開き始めた  
東の間のかわ 渴かわいた心　　ひっそりと潤うるおすように  
すぎし恋懐かしんでも　　この恋はもう帰らない  
カーテンも扉も閉めて　　長い夜ひとり過ごすの

やがて来る白い景色が　　すぎし日をおおいつくして  
人生を葬ほうむるように　　粉雪こなゆきが窓をうずめる  
ストーブのそばに座って　　あなただけ感じたいけど  
春まではわたしの恋も　　目を閉じて眠りにつくの